(様式第一号) 建築物の 解体工事の場合 記載例

	川		
長崎県 _{→区町}	知事 :村長	2	平成 2 2 年 月 日
フリカ・ナ)氏名(法人にあっては商号又は名称	サイシー再覧	アンカ 40ウ 原化 太郎
光注有又は日土旭工有の	(郵便番号 850 - ×××		
(転居予定先	(郵便番号 850 - ×××	 ×) 電話番号 09	5 ××××
建設工事に係る資材の再	住所 長崎市江戸町 資源化等に関する法律第10条第		とおり届け出ます
住収工事に ぶり負わい円!		1項の死足になり、下記の	この が届け山より。
1.工事の概要	記		
工事の名称	住宅解体工事	_	
工事の場所長崎 工事の種類及び規模	奇市江戸町 -	-	
✔建築物に係る解体工事	事 用途 <u>専用住宅</u> 、『	谐数 <u>2</u> 、工事対象原	下面積の合計 <u>100 m2</u>
建築物に係る新築又は	は増築の工事 用途、降	皆数、工事対象床ī	面積の合計m2
建築物に係る新築工事	事等であって新築又は増築の工	事に該当しないもの	
	用途、階数、	請負代金万円	
建築物以外のものに係 請負・自主施工の別!	る解体工事又は新築工事等 請負 自主施工	請負代金万円	
2.元請業者(請負契約によ	らないで自ら施工する場合は記録	載不要)	
(郵便番号 - × ×	「号又は名称及び代表者の氏名」 ××) 電話番号 095 -	_(株) ×解体	解体 次郎
住所 長崎市江戸 許可番号(登録番号) 建設業の場合	田 」 —		
建設業許可	大臣 知事(-)	号(工事業)	
ま任技術者(監理技術: ▼解体工事業の場合	者)氏名		
解体工事業登録 長崎			
解体工事業登録 <u>長</u> 崎 技術管理者氏名 <u>解体</u>			
技術管理者氏名 <u>解体</u> 3.対象建設工事の元請業者		よる説明を受けた年月日	
技術管理者氏名 <u>解体</u> 3.対象建設工事の元請業者	本 一郎 者から法第12条第1項の規定によ 自ら施工する場合は記載不要)	よる説明を受けた年月日	
技術管理者氏名 解体 3.対象建設工事の元請業者 (請負契約によらないで自 平成 22年 月 4.分別解体等の計画等 建築物に係る解体工事 建築物に係る新築工事 建築物以外のものに係	本 一郎 者から法第12条第1項の規定によ 自ら施工する場合は記載不要) <u>日</u>		
技術管理者氏名 解体 3.対象建設工事の元請業者 (請負契約によらないでは 平成 22年 月 4.分別解体等の計画等 建築物に係る解体工事 建築物以外のものに係してより記載すること。	本 一郎 者から法第12条第1項の規定によ 自ら施工する場合は記載不要) <u>日</u> ほについては別表1 ほ等については別表2		
技術管理者氏名 解体 3.対象建設工事の元請業者(請負契約によらないでき 平成 22年 月 4.分別解体等の計画等 建築物に係る解体工事 建築物に係る新築工事 建築物以外のものに係 により記載すること。 5.工程の概要	者から法第12条第1項の規定によ 自ら施工する場合は記載不要) 日 日 「については別表1 等については別表2 る解体工事又は新築工事等につ	Oいては別表3 (工事着手予定日) <u>平成</u>	
技術管理者氏名 解体 3.対象建設工事の元請業者 (請負契約によらないでは 平成 22年 月 4.分別解体等の計画等 建築物に係る解体工事 建築物に係る新築工事 建築物以外のものに係 により記載すること。 5.工程の概要	者から法第12条第1項の規定によ 自ら施工する場合は記載不要) 日 日 「については別表1 等については別表2 る解体工事又は新築工事等につ	DNでは別表3 (工事着手予定日) <u>平成</u> (工事完了予定日) <u>平成</u>	23年 月 日

1 欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。 2 記名押印に代えて、署名することができる。

3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

受付番号

受付番号

記載例 ^{建築物の} 新築工事の場合

届出書

長崎県	-市区町村-	知事 し 殿					平月	戊 2 2 :	年 月	日	
発注者又は自主		(郵便番	5っては商号又は名 号854 -×××; 早市宇都町	×)電	表者のE 話番号	_{氏名)} (株 095	() ×	シュウタク ミ 住宅 チ -×:	シンチクタロワ 新築太E ×××	"	代 表 <u> </u> 印
	居予定先) [···· (郵便番 主所 <u></u>	号 -)	電話番号							
建設工事に係る	資材の再資源	原化等に関		₹第1項 <i>0</i>	D規定に	こより、下	記のとる	おり届け	出ます。		
1.工事の概要			記	_							
工事の名称			ョン新築工具	<u> </u>							
工事の場所 工事の種類及		F 中 水 🖹		<u>-</u>							
建築物に係る	る解体工事	月	月途、階	数	、工事	事対象床	面積の	合計	m2		
★建築物に係る	る新築又は増	築の工事	用途 共同住宅	<u> </u>	数_13		L事対象	床面積	の合計_	11,000) <u>m2</u>
建築物に係る	る新築工事等	であって新	「築又は増築の	工事に該	核当しな	いもの					
		· ·	、階数								
建築物以外(請負·自主施			スは新築工事等 施工	請負	代金	<i>}</i>	<u>7円</u>				
2.元請業者(請負	契約によらな	いで自ら放	拖工する場合は	記載不到	要)						
	1 - ××××) 電話番	なび代表者の氏 号 0957 -		マルバ 未) > :×××	ッケンセッ × 建設	_{рт} гу А	体 次			
許可番号(登録 ▼建設業の場合	合	•									
建設業許可_			<u>(般 - 20</u> - ☆) ×	£	号 (建築	工事	事業)		
主任技術者() 解体工事業(氏名 <u></u> #14	<u> 一切</u>								
解体工事業登	登録	知事	号								
技術管理者氏	氏名										
3.対象建設工事((請負契約によ			条第1項の規定 場合は記載不要		明を受り	けた年月	I日				
平成 22年	月	日									
4.分別解体等の記 建築物に係る 建築物に係る 建築物以外の により記載する	解体工事に 新築工事等 Oものに係る触	については		こついて	は別表	3					
5.工程の概要											
	別紙のと	おり			(工事着 = (工事完	手予定日) 了予定日)	平成 2 平成 2	2 年	月 月	且且	
(できるだけ図面、表領 (注意)											
1 欄には、該当箇 2 記名押印に代えて	、署名することが	ができる。	+n+1mm			NT / L-1 -					
3 届出書には、対象3	建設工事に係る	建築物等の	設計凶乂は現状を	示す 明瞭	よ与具を	:添付する	こと。				

記載例 土木工事等の場合

川 山 首	
長崎県 知事 平成 22 年 	月日
7川がけ 発注者又は自主施工者の氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名) ×ガス(株) 設置 (郵便番号 850 -××××) 電話番号 095×××	太郎 大郎 表 者 印
住所 長崎市江戸町 - (転居予定先) (郵便番号 -)電話番号	
住所 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ま	す。
記	
1.工事の概要	
工事の名称刀人官設直工 事 工事の場所 西海市大瀬戸町 一	
工事の種類及び規模	
建築物に係る解体工事 用途、階数、工事対象床面積の合計	<u>n2</u>
建築物に係る新築又は増築の工事 用途、階数、工事対象床面積の合計	m2
建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの	
用途、階数、請負代金万円	
▼建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 1,050 万円 請負・自主施工の別: ▼請負 自主施工	
2.元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)	
フリがナ 氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名) (株) ×土木 解体 次郎 (郵便番号 -××××) 電話番号××××	
住所 西海市大瀬戸町 許可番号(登録番号) √ 建設業の場合	
建設業許可	
主任技術者(監理技術者)氏名 <u>解体 一郎</u> 解体工事業の場合	
解体工事業登録号	
技術管理者氏名	
3.対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日 (請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)	
平成 2 2 年 月 日	
4.分別解体等の計画等	
5. 工程の概要	_
別紙のとおり (工事着手予定日) <u>平成22年 月</u> (工事完了予定日) <u>平成23年 月</u>	<u>且</u>

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。) (注意)

- 1 欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 記名押印に代えて、署名することができる。
- 3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

受付番号

	建築物	物の構造	▼木造 鉄骨造		デコンクリート リートブロック		フリート造)
		建築物の状況	築年数_	30年、棟			,
	築物に関		その他(-)
す		周辺状況		5る施設 ❤		業施設 ♥学校	病院 その他()
	結果				三離約 <u></u>	<u>1</u> _m	1
<u> </u>			その他(住宅密集	地	<u> </u>)
			建築	物に関する	調査の結果	工事着	手前に実施する措置の内容
		作業場所	作業場所	斤 十分	▼不十分	R数+协信田	
				隣地の使用			の外的内、坦ជ区のロリカ
		搬出経路	障害物	有()) ▼ 無		
7 13 (经小加1一月日			各の幅員 約		交通整理!	
	築物に関し る調査の		通学路			4 トノトラ	ックで搬出
結	果及び工		その他(大型車交通	也不可		
	着手前に	7支1子120日	▼ 19 (エアコ)	٠,	1		までに搬出する
	施する措 の内容		無)	▎ ▁ ਝ꺤ᅩᆞ	までICMXILLY る
	.00131	特定建設資材	有			+	
		への付着物	(_)		
			✔無		<u></u>		
		その他				诉	
			有害物質	質有り()	有害物質(
<u> </u>		T10	<u> </u>	T	佐 安山 2		八回級法学の七法
工 程	建築設	工程 ·備·内装材等			作業内容 内装材等の	<u>今</u> 取り外し	<u>分別解体等の方法</u> ▼ 手作業
ごとの	K-/\\	. PH		有 無		- 100 7 7 1 -	手作業・機械作業の併用
作	屋相 ふ	±++		見坦ふきな	の取り外し		併用の場合の理由() 手作業
業内	屋根ふ	られ		座低いされ			▼ 于TF業 手作業·機械作業の併用
容及					*		併用の場合の理由()
び	外装材	·上部構造部分		外装材·上 ◆有 無	部構造部分 F	の取り壊し	手作業 ● 手作業・機械作業の併用
解体	基礎·基	基礎ぐい		基礎·基礎	ぐいの取り境	€U	★ 手作業
方法				▼有 無	Ę		● 手作業·機械作業の併用
/Z	その他	1		その他の耶 有 ◆無			手作業 手作業・機械作業の併用
H		事の工程の順序		❤上の工程	呈における	0	D順序
				その他(3 ヘ ヘ 畑 土 /)
-	♪ 内装材	に木材が含まれ	ス提合	その他の場の工程に		分別に支障となる	
`	ו ניויצאיניו		o'*∞ ⊔	可 🗸不	可		
建	ᅉᄱᄱ	られた建設資材の量	ラロンコ	不可の場合			、取り外しができないため)
		資材廃棄物の種		<u> </u>	<u>40</u> 種類	量の見込み	発生が見込まれる部分(注)
棄	量の見込	み及びその発生					75 ± 75 75 25 (1±)
物発	カマス (金) (2)	物の部分		777 11	. コン・カリ し 上中	25 トン	
4	11の娃架						
	110建架			パスノアルト <u> </u>	・コンクリート塊	トン	
発生見込	110 建架			プスファルト 全設発生		トン	/ / /
見込量		碌借·内装材等 屋	根ふき材	❤️建設発生	上木材	10 トン	**
込	(注) 建築	註備·內裝材等 屋 特定建設資材廃:		◆建設発生 外装材·上部構	生木材 造部分 基礎	10 トン ·基礎ぐい その他	の名称(中間処理業者名)
込量	(注) 建築		棄物の種類	◆建設発生 外装材·上部構	生木材 造部分 基礎	10 トン ·基礎ぐい その他	の名称(中間処理業者名)

(A4)

建築物に係る解体工事

	建築	物の構造	木造 鉄骨造		コンクリート ロトブロック		:筋コンク :の他(リート造)			
		建築物の状況	_	30 年、棟			- ,	,			
	築物に関 る調査の		その他() 周辺にある施設 住宅 ♥商業施設 学校 病院 その他()								
	結果	1月221八九		との最短距	- •	1_m	丁仅	//APIL C 07 (E ()			
			その他(駅前)								
				物に関する	<u> </u>		工事着	手前に実施する措置の内容			
		作業場所	作業場所 その他(f 十分 ◀ 隣地の使月	▼不十分 用必要)	隣	地使用0	D承諾済、道路使用許可済			
		搬出経路	障害物	有()	無						
7 .13 ·	築物に関			めい 偏員 約	4_m			見の常駐			
	発物に関 る調査の		通学路	◆有 無 大型車交通	i太司)	2	トノトフッ	クで搬出			
	果及び工 着手前に	 残存物品	有	八王十人心	, (i, i, i						
実	有子別に 施する措 置の内容		(業務用 無	エアコン)		正処理の 事施工ま	D実施 Eでに搬出する			
		特定建設資材	┪有			適	正加理点				
		への付着物	(吹付け石綿) 無				適正処理の実施 近隣対策及び諸官庁届出済				
		その他	***								
			無し								
工程	7 + 66 + 0	工程	L	7± <u>//</u> -	作業内容			分別解体等の方法			
ごとの	建築設	·備·内装材等		建築設備・「 ▼有 無	为装材等の	取り外し		▼ 手作業 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()			
作業	屋根ぶ	き材		屋根ふき材			手作業				
内容				√ 有 無				手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()			
及 び	外装材	·上部構造部分		外装材・上部構造部分の取				又り壊し ● 手作業 ・機械作業の併用			
解体	基礎·基			▼有 無 基礎·基礎	ぐいの取り壊	₹U	手作業				
方法	スの出			★ 有 無 その他の取				▼ 手作業・機械作業の併用 手作業			
,,,	その他 ()		有↓無		手作業・機械作業の併用					
	I	事の工程の順序		★上の工程における の順序その他()							
	_			その他の場)			
1	内装材	に木材が含まれ	る場合	の工程にお ず 不		別に支障と	となる建設	資材の事前の取り外し			
				不可の場合	の理由()			
		られた建設資材の量 資材廃棄物の種		括	<u>1100</u> 類		見込み	発生が見込まれる部分(注)			
棄	量の見込	み及びその発生	が見込ま					光王が兄匹よ(18部分(注)			
物発	れる建築	物の部分		マフファルト・	コンクリート塊	950) トン				
発生見込							トン				
				♥ 建設発生	木材	8 0) トン	♥			
量			根ふき材	外装材·上部構) -		基礎ぐい	その他				
備者	5	特定建設資材廃	果物の種類	Į	再資源化等: (株)	をするため	めの施設の	の名称(中間処理業者名)			
		アスファルト・コンクリ									
		建設発生木材			×	<u>センタ-</u>					

記載例 建築物の 新築工事の場合

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

使用する特定建設 資材の種類			コンク!		ンクリート及でフリート サ ク		いら成る建設	資材	
する	物に関 調査の	建築物の状況 周辺状況	築年数_ その他(金施設 ✔	数棟		殳 ❤️学校) 病院 ▼	その他(幼稚園)
糸	吉果			との最短距 幹線道路(離 約 <u> </u> (国道)沿い	<u>2</u> _m 、交通)	
			建築	物に関する	調査の結果	Ę	工事着	手前に実施す	る措置の内容
		作業場所	作業場所 その他(↑ ★十分	不十分)		道路使用語	午可を取得	
建築物に関する調査の 結果及び工 事着手前に はなる。	搬出経路	前面道路 通学路	▼有(未舗装 るの幅員 然 ▼有 無 大型車交通	<u> 12</u> m	Ę	敷鉄板設置 交通整理員		用道路の確保	
実施する措 置の内容		特定建設資材への 付着物(修繕・模様 替工事のみ)	有 (無)				
		その他	無し						
Ĭ	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	工程		\#\\			作業内容	ř	
程ご	造成等			造成等の]	_事 ♥有	無			
_ と の	基礎·基	基礎ぐい		基礎·基礎	ぐいの工事	V E	無		
作業	上部構	造部分·外装		上部構造部	『分・外装の	工事	▼有 無	#	
内容	屋根			屋根の工事	有	無			
	建築設	備·内装等		建築設備·	内装等のエ	事 🖠	有 無		
(その他 仮設)		その他のエ	事 ◀有	無			
	持定建設	資材廃棄物の種 み並びに特定建		種	類	量	の見込み		分又は発生が見 しる部分(注)
物が	が使用され	れる建築物の部分 材廃棄物の発生	分及び特	√ コンクリー	- 卜塊		20 トン	4.	*
生ま		築物の部分		♥ アスファルト	・コンクリート塊		2 トン	4 4	•
見 込 量				♥建設発生			10 トン	y	•
()	主) 造成		造部分 外装		築設備·内装等			~ <i>21</i> 1. ± == 1	
備考		特定建設資材廃す コンクリート塊	き物の種類	Ę	冉貸源化等 (株)	をする	ための施設	の名称(中間処	ル埋業省 名)
		アスファルト・コンクリ	- -		(1/1)	(有)			
		建設発生木材			×	セン・	<u>ター</u>		

記載例 土木工事等の場合

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

	工作:	物の構造 工事のみ)	鉄角	アコンクリート	造 その(也()		
	工事	の種類	★新築工事 維持·修繕工事 解体工事							
			電気 水道 🗹 ガス 下水道 鉄道 電話 その他()							
		E建設資材の種類 ・修繕工事のみ)	↓コンクリート コンクリート及び鉄から成る建設資材 ▼スファルト・コンクリート 木材							
		工作物の状況		築年数年						
	作物に関	東江水	その他() () () () () () () () () ()							
9	る調査の 結果	周辺状況	周辺にある施設 ★住宅 ★ 商業施設 学校 病院 その他() 敷地境界との最短距離 約 3 m							
	MHZIC			れての最短 の幹線道路				()		
			I	<u></u> 作物に関す	る調査の結	 果	工事着			
		 作業場所		易所 ▼十分		-				
_	<i>U</i> —	11 20 2111		現道上に	おける工事		道路占用語	午可済、道路使用許可済		
	作物に関 る調査の	搬出経路	障害物) ★無					
	果及び工 着手前に			道路の幅員 各 ▼有 第	烈 <u>12</u> m 無		交通整理員	員の常駐		
	値子別に 施する措	特定建設資材への付着		(現道上の/	ため支障無	し)				
置	置の内容	物(解体・維持・修繕工事 のみ)	有(無)					
		その他	711	fur I			少道住民!	 - 丁車の内容を		
			無し				沿道住民に工事の内容を 広報、周知する。			
工程ご		工程			作業内	容		分別解体等の方法 (解体工事のみ)		
ごと	仮設			仮設工事 ◀有 無				手作業 手作業・機械作業の併用		
の 作	土工			土工事 🔰 無				手作業・機械作業の併用		
業	基礎							手作業・機械作業の併用 手作業		
内容	圣诞			基礎工事 ◀有 無				チ1F業 手作業・機械作業の併用		
容及び	本体構	造		本体構造の	工事 ◀有	無		手作業 手作業・機械作業の併用		
解	本体付	属品		本体付属品の工事 有 ▼無			#	手作業 手作業・機械作業の併用		
体方法	その他			その他のエ	事有◀		手作業			
法	(丁重	<u>)</u> の工程の順序								
		学体工事のみ)		- この工程における の順序						
		引いられた建設資材の み(解体工事のみ)	D量	7						
廃棄		が対象のでです。 対象をあるでは、 対象を表している。 対象を表して、 対象を表して、 対象を表して。 対象を表して。 対象を表して。 対象を表して。 対象を表して。 もる。 対象を表して。 もる。 対象を表して。 もる。 もる。 もる。 もる。 もる。 もる。 もる。 もる。 も。 もる。 もる		量の日はおり				使用する部分又は発生が	「見	
物	が使用され	る工作物の部分(新 事のみ)及び特定建	築·維	√ コンクリー	·卜塊			込まれる部分(注) ✓		
発生	廃棄物の発	生が見込まれる工作	物の部	▼ アスファルト・	コン・カロ し 上中		10 トン			
生見	分(維持・修	経繕・解体工事のみ)		♥	コノソリートル池		230 トン	•		
込 量				建設発生	木材		LN			
	(注) 仮設		本体構造	本体付属品	その他		トン	<u> </u>		
備者	考 <u></u>	特定建設資材廃	棄物の利	重類 		をするた	めの施設の	名称(中間処理業者名)		
		コンクリート塊 アスファルト・コンク!	J- ŀ	-	(株)	(有)				
		建設発生木材		- -		/				